

【 平成 27 年度 河川巡視結果 】

(仙台市消防局警防課)

1 巡視日時、消防署管内・河川等

巡視日時	消防署管内・河川等
4月21日(火) 9時30分～11時00分	【青葉消防署管内】 梅田川 上杉六丁目 杉戸橋付近、梅田町 梅田橋付近
4月21日(火) 13時30分～15時00分	【宮城野消防署管内】 七北田川(左岸、右岸、河口) 蒲生字町、西原地内、白鳥一丁目地内
4月22日(水) 9時00分～11時30分	【若林消防署管内】 貞山運河、井土浦川、二郷堀 大堀・二郷堀・藤塚排水機場、井土浦樋門
4月22日(水) 13時30分～15時00分	【太白消防署管内】 谷地堀 郡山字原田、郡山字谷地田東
4月23日(木) 14時00分～16時00分	【泉消防署管内】 山田川、花輪川、七北田川 新館下橋周辺、柏坊橋東側、仙台川合流点
4月23日(木) 9時30分～11時00分	【宮城消防署管内】 広瀬川 芋沢字新田地内、芋沢字大竹新田下地内

2 参加機関

国	東北地方整備局仙台河川国道事務所名取川出張所
宮城県	宮城県仙台土木事務所
仙台市	危機管理室防災計画課 都市整備局住環境部開発調整課 建設局百年の杜推進部河川課 建設局下水道事業部下水道調整課 建設局下水道事業部下水道北管理センター 建設局下水道事業部下水道南管理センター 青葉区役所区民部区民生活課 青葉区宮城総合支所まちづくり推進課 宮城野区役所区民部区民生活課 若林区役所区民部区民生活課 太白区役所区民部区民生活課 泉区役所区民部区民生活課
消防団、消防署	各消防団、各消防署、消防局

3 参加人員（延べ人員）

消防署管内 (河川等)	国・県・市 関係者	消防団員	消防職員	計
青葉消防署管内 (梅田川)	9名	5名	17名	31名
宮城野消防署管内 (七北田川)	13名	7名	8名	28名
若林消防署管内 (貞山運河等)	13名	11名	9名	33名
太白消防署管内 (谷地堀)	8名	2名	13名	23名
泉消防署管内 (山田川等)	10名	6名	17名	33名
宮城消防署管内 (広瀬川)	13名	5名	7名	25名
合計	66名	36名	71名	173名

4 巡視結果

(1) 青葉消防署管内（梅田川）

上杉山中学校北東側の杉戸橋付近には、護岸直上の一部に、民家の基礎部分が設置されている。川幅が狭く見えるものの、流水に必要な断面は確保している。

台原一丁目1番地内（杉戸橋から上流）の堤防は、平成26年9月10日の豪雨により崩れている。崩れた堤防の幅は、約30mにわたる。現在、復旧工事の発注手続きを行っている。

梅田町の梅田橋付近において、梅田町6番地内の護岸裏に長さ30m、高さ2m、幅30～50cmの空洞が見つかったことから、現在、護岸改修工事を行っている。

梅田町7番付近へ、堰及び水門が設置されているものの、以前から破損した状態であり、使用していない。護岸は、護岸を構成する石の一部が抜け落ちている。平成27年度中に、傾いた特殊堤及びフェンスを撤去の上、再設置する計画である。

宮町五丁目3番付近は、護岸等に異常は認められない。一方、河川敷に容易に降りられる地形であることから、散策する市民や、河川敷で遊ぶ子供を散見する。出水時には、市民等が近付かないよう留意する必要がある。

今後も関係機関と連携し、水防上危険と認める箇所の実態把握に努め、水害対策の確立を図る必要がある。

(2) 宮城野消防署管内（七北田川）

七北田川の堤防破損個所について、右岸側は、平成 25 年 3 月に復旧工事を完了している。高砂橋上流の堤防は、平成 27 年 9 月までに地盤沈下分の堤防嵩上げ工事を行う計画である。高砂橋下流の堤防は、用地取得を進めるとともに、地域住民や関係機関と協議しており、平成 29 年度末の完了を目途に、防潮堤と同じ高さの L1 津波対応堤防工事を予定している。

河口は、堆積土砂の除去作業が完了し、現在築堤工事を行っている。貞山堀と七北田川の接続部分は、仮設のフラップゲートを設定している。

和田排水樋門は開閉可能であり、七北田川の水位が高い場合、建設局下水道南管理センター職員または契約業者により現地を確認の上、樋門を閉鎖する対応としている。和田排水樋門から内水を排水できない場合、約 100m 西側に設置している仮設排水ポンプ 4 台を起動し、内水を七北田川へ排水する。

白鳥一丁目には、仮設排水ポンプを 5 台（1 台あたり毎分 4 t の排水能力）設置している。都市排水路には水位計を設置しており、水位変化を建設局下水道南管理センターにおいて遠隔監視している。水位が上昇した場合、建設局下水道南管理センターまたは契約業者により仮設排水ポンプを起動する対応としている。仮設排水ポンプを冠水前に稼働することにより、冠水被害を防いでいる。仮設排水ポンプの年間起動回数は、例年 10 回を下らない。

七北田川の堤防は復旧工事が進んでいるものの、河口部の築堤護岸工事、堤防の嵩上げ工事の完成には時間を要する。今後も、堤防、排水ポンプ等の復旧状況を随時確認しつつ、消防団や関係機関との連携を深め、水防活動などの災害対応力を強化していく必要がある。

(3) 若林消防署管内（貞山運河等）

荒浜排水機場（所管：農林土木課）は、建屋を既に再建している。3 台の排水ポンプを設置するが、現在は 1 台のみ稼働可能である。工事完了後、7 月末に引渡しの計画である。

二郷堀排水機場（所管：農林土木課）は、移転新設工事中である。建屋を既に再建しているものの、新しい排水機場として 7 月末に引渡しの計画である。二郷堀排水機場の移転新築事業は震災前から進めている。震災による地盤沈下の影響を考慮し、排水能力を当初計画の約 2 倍に向上している。（旧施設は、水門のみ残し、解体する予定である。）

新設する井土浦川排水機場（所管：河川課）は、平成 28 年度中の完成を目指している。井土浦川排水機場も、震災による地盤沈下の影響を考慮し、排水能力を当初計画よりも向上した。二郷堀地区全体の内水対策事業として、二郷堀排水機場、井土浦川排水機場を並行して進めている。（付近に設置している井土浦樋門は、国土交通省が所管する。）

藤塚排水機場（所管：農林土木課）は、工事完了後、7 月末に引渡しの計画である。

名取川左岸は、平成 25 年度中に改修を完了している。河口から 1.4 km にわたり 3 面

張りコンクリート補強を行っている。河口から 1.4km 区間の天端高は、河口から閑上大橋までが 7.2m、閑上大橋から上流は 6.0m の設計としている。

河川巡視により、4 箇所排水機場の整備状況を確認した。井土浦川排水機場は平成 28 年度中の完成を見込むものの、他の 3 箇所排水機場は平成 27 年 7 月末の引渡し計画である。台風襲来期は、3 箇所排水機場の稼働により、排水対策への効果を発揮すると考えられる。

(4) 太白消防署管内 (谷地堀)

谷地堀は、下流端において旧笹川と合流した後、名取川へ合流する。平成 6 年 9 月 22 日の集中豪雨により、名取川の増水や、支流域への逆流が発生、谷地堀が氾濫し床上浸水 4 戸、床下浸水 20 戸の被害をもたらした。以後、名取川からの逆流を防ぐため、旧笹川と名取川との合流地点に水門を設置している。併せて、谷地堀及び旧笹川の排水対策として、名取川との合流地点 (水門) 付近に遊水地を設けている。

谷地堀の改修工事に着手していたものの、東日本大震災の発生により中断していた。今年度は、「A1 橋台」の橋梁下部工を計画している。以後、平成 30 年度に橋梁上部工を予定し、平成 31 年度以降に川幅を拡張する計画である。

谷地堀には、護岸の崩れや洗掘等の異常は認められない。

今後、改修工事の動向を情報共有しながら、付近の水害対策に活用していく。

(5) 泉消防署管内 (山田川等)

山田川は、平成 24 年 6 月の台風により越水し、床下浸水が発生した。山田川の約 30 m の範囲へカゴマット工法による護岸工事を行い、平成 25 年度中に完了している。また、山田川付近の農業用水堀が越水し、床下浸水が発生したことから、農業用水を山田川へ排水するため、地盤の掘り下げ工事を行った。平成 25・26 年度に越水等は発生せず、2 件の工事による適切な効果と考えられる。山田川に係る改修計画は完了しており、被害が発生した場合に、適応する工事・改修を行う。

花輪川は、花輪橋下流から西田中川合流点までを準用河川に指定している。平成 21 年度中に護岸の改修を完了したものの、平成 24 年 6 月の台風により護岸が崩れる被害が発生、平成 25 年度中に復旧工事を行っている。現在、柏坊橋下流の右岸法面に、地震の揺れと出水等により崩れかけた箇所がある。災害復旧事業として、平成 27 年度に改修する計画である。

七北田川は、左岸の護岸工事を平成 24 年度中に完了している。平成 26 年度は、七北田橋の下流部分を改修した。平成 27 年度以降、七北田橋から仙台川合流点までの護岸を順次改修していく。七北田橋付近に設置している量水標を、平成 26 年度に右岸側から左岸側へ移設している。量水標へ明確に塗色しているため、数値を読み取れない場合でも、水位の概要把握が可能である。

七北田川と合流する仙台川は、真美沢橋付近の護岸に、東日本大震災の揺れによる部分的亀裂が発生している。現在まで応札不調が続いていることから、施工方法を検討するなどして、平成 27 年度中に発注する計画である。

今後も、改修工事等の状況を関係機関と共有し、的確な水防活動を行っていく。

(6) 宮城消防署管内（広瀬川）

芋沢字新田地内の右岸は、20m を超える急傾斜地である。越水の可能性はないものの、増水による洗掘の可能性がある。左岸（西仙台病院側）は、護岸に破損箇所等の異常を認めない。付近において広瀬川に合流する聖川は、護岸工事を完了している。聖川の水位が上昇した場合、大堀橋付近から越水する可能性を排除できない。

芋沢字大竹新田下地内の、過去に越水した箇所からは、旧大沢橋の橋脚を撤去済みである。橋脚撤去後に越水は発生していない。

広瀬川の河川内（中洲等）に雑木の繁茂した箇所を散見する。河川内において支障となる場合、適切な河川の維持管理のため、雑木を切断するなどの措置を講ずる。

広瀬川に合流する斉勝川は、平成 27 年度に堆積土砂の撤去を計画している。栗生四丁目付近を 4 月～6 月下旬に、栗生七丁目付近（本木橋下流）を 11 月～3 月に、それぞれの堆積土砂を撤去する計画である。

今後、関係機関と連携し、水防警報等発令時の迅速な初動対応に努めていく。